

## 株式会社アルファコックス Alphacox Co.,Ltd.

所在地：〒155-0031 東京都世田谷区北沢 1-45-39-1F

ソフトウェアの輸入・販売・サポート

主な事業内容：建築・土木・インテリアのプレゼンテーションサポート（CG・3Dモデル制作/立体モデル出力）

WEBデザイン・製作

不動産企画・コンサルティング

URL：http://www.alphacox.com/

CEO（最高経営責任者）廣瀬 繁伸氏（左）  
CTO（技術部門責任者）田中 雅子氏（右）

HDD も搭載しているので、サイズの大きな 3DCG のファイルも余裕をもって保存できる。これで質量は 1.9kg、外形寸法 390×266×19.9mm というスタイルだ。

「3DCG ではマシンパワーが必要とされますが、レンダリング処理などでは CPU や GPU がフルに動作するため発熱も相当な量になるようで、以前使っていたマシンですが、GPU が焼けて壊れてしまったことがあります。」

ノートタイプの PC はデスクトップ PC と異なり放熱に必要なスペースが限られており CPU や GPU などからの排熱処理が難しいものだが、WS60 は 2 基のクーリングファンを備えているほか、CPU と GPU それぞれに配置されたヒートパイプを利用した独自の冷却機構を採用している。これにより過酷な使用条件でも安心して使用できるように設計されている。また、2 基のクーリングファンからの排熱は後方部分の 4 箇所から排気されるようになっており、19.9mm という厚さながら優れた冷却を実現している。もちろん、ファンの回転数などは内部温度に応じて自動制御されている。

## 客先へ持ち運べる

## ハイエンドノート PC が必要性

Alphacox は、米 Trimble 社の 3D CG ソフトウェア SketchUp や Google Earth Pro、同社が開発した高速ビューアソフト「B-WALKER」などを扱っているほか、景観や建築物のコンサルティング業務を行っている会社である。こうした 3D CG ソフトウェアのセミナーなども行っており、ソフトウェアの使い方から実際の現場での運用まですべてを知り尽くしたプロ集団といえるだろう。こうした、ソフトウェアは 3D のレンダリングやレイトレーシングなどをリアルタイムで行う必要がありハイエンドな PC が必要となる。必然的にデスクトップ型となるのだが。

「客先でのプレゼンなどでは、ノート PC を使っています。3D CG を扱うので CPU もさることながら GPU が重要になりますね。こうした用途向けの製品は扱っているメーカーも少なく機種も限れますが、いくつか存在しています。hp や DELL、MSI の Mobile Workstation や VAIO Z Series といったところでしょうか。ただ、同じ CPU や GPU を搭載していてもメーカーやモデルによってかなり差がありますね。仕事で使う重要なツールなので、実際に何機種か購入して最適な 1 台を使うようにしています。」

Mobile Workstation は一見ちょっと大きめのノート PC だが、デスクトップワークステーション並みの性能を備えている。例えば、MSI の WT70 という機種では

CPU に第 4 世代 Core i7、メモリー 32GB、GPU に 4GB の VRAM を搭載した NVIDIA Quadro K4100M を採用しているほか、RAID 構成対応の 3 基の SSD + 1TB HDD というスペックとなっており、ノートタイプの PC とは思えないハイエンドな環境を提供している。

## 軽量でハイスペック

## 海外へも持って行ける

「hp や DELL、VAIO Z Series を使ってきましたが、今回 MSI CAD&3D モデリング対応モバイルワークステーション WS60 シリーズを選択しました。プレゼンなどでは国内だけでなく海外にも行きますから本体はもちろんですが、AC アダプターを含めた質量はできる限り少なくしたかったです。このサイズの PC では性能的に現時点で最速の部類に入りますし、本体だけでなく AC アダプターも小型で気に入ってます。従来ですと本体だけで 3-4kg あって AC アダプターやマウスなど関連の備品を含めると 5kg オーバーも普通でしたが、WS60 なら 3kg 程度に収まります。」

今回お使いいただいている WS60 は、CPU に第 4 世代 Core i7、メモリー 16GB。GPU は NVIDIA QuadroK2100M に VRAM 2GB といった構成だ。ストレージもオプションで 2 基の SSD を搭載することができ、RAID0/1 に対応。読み取り速度が 1,000MB/s 以上と HDD RAID 0 と比べ約 5 倍速い超高速起動可能な MSI 独自の MSI Super RAID も搭載することもできる。さらにデータ用として 1TB の

「客先でのプレゼンでは、屋根の色を変えとか視点を変えて見せるとか、建物の影の位置が季節や時間でどのように変化するかをその場で見せて打ち合わせをすることが多いですね。ビデオやアニメーションなどでは予め作り込んだパターンしか見せられませんが、SketchUpを立ち上げてその場でこうした変更を行うことでより緻密な打合せを行うことができ、効率的かつ間違いや誤解のないやりとりを行うことができます。SketchUpは建築など建物を得意としたソフトですが、国内を初めとしたゲームメーカーでもCG制作のフロントエンドツールとして活用いただいています。」



屋根や壁のテクスチャを変えるのはもちろんのこと緯度や経度を設定することで冬至や夏至での日照の様子を建物の外観だけでなく室内にどのくらい日が入るかなどをその場ですぐに確認できた。都市開発など大規模な施設の場合テクスチャやポリゴンなどが膨大な数になりウォークスルーなど非常に処理が重いものでもストレスなく動いている。また、景観などでは街路樹など樹木が配置されること

### MSI WS60 シリーズ

型番：WS60 20J  
WS60 20J (3K IPS Edition)

航空宇宙産業で用いられるマグネシウム・リチウム合金を採用する事により、驚異的薄さ 19.9mm と重量わずか 1.9 kg という軽さを実現しました。従来モデルの優れた性能を継承すると同時に最新のインテル®Core i7、NVIDIA® Quadro、MSI 独自の排熱機構を兼ね備えた世界初の超薄型 高性能ワークステーション



も多いが、見た目以上に処理に負荷がかかるものである。樹木の種類や配置だけでなく成長した場合や落葉したときなど景観がどのように変化したかを瞬時に表示できるのは圧巻だ。これは SketchUp の優秀性はもちろんだがそれを支える WS60 のマシンパワーがあつてのことといえるだろう。

「客先でテレビモニターやプロジェクターに接続してプレゼンすることも多いのですが、最近ではハイビジョン対応しており、HDMI で手軽に接続できるようになりました。解像度というかレゾリューションは高いほうが斜めの線など綺麗に表示されますので将来的に 4K 対応のプロジェクターなどが普及してくれると嬉しいですね」

最新のテレビモニターなどでは HDMI だけでなく DisplayPort を装備した製品も出てきており、ハイビジョンだけでなく 4K 出力にも対応している。WS60 には HDMI と MDMI 出力兼用の Thunderbolt2 が標準装備されており最大 2 台の外部モニター出力が可能である。

さらに、外部モニターが PCI Express 対応の場合、Thunderbolt2 を介し、FHD モニターの場合は 4 画面、また、4K モニターの場合は 1 画面に出力可能。将来的に 4K のモニターやプロジェクターが普及しても対応可能だ。

### プレゼン時の暗い室内で 光るキーボードは重宝

プロジェクターを使ったプレゼンでは、室内を暗くすることが多いですが WS60 はキーボードに照明が組み込まれているので重宝します。」

キーボードにはコントロール可能なバックライトを採用。プロジェクターを使うような薄暗い会議室や発表会場などでも迷うことなくキーの操作を行うことができるほか、人間工学に基づいて開発された Steelseries 製のキーボードにより、快適な操作性を実現している。ノート PC よくあるペナペナした感触ではなく、確かなフィーリングで確実な操作ができる。



プロが使うツールは性能に裏付けされた操作性や機能が重要だ。いくら性能が良くても現場で使うことができなければ意味はない。MSI の WS60 は最新のディスプレイやテクノロジーを搭載することで優れたパフォーマンスを実現したほか、プロが現場で必要とされるであろう機能や操作性を一般のノート PC 並みのサイズに凝縮している。3DCG はもちろんこうしたハイエンドなツールを必要としている現場には最適な製品といえるだろう。

お問い合わせ先